

母と子のにわ

—利用者みなさまと母子医療センターをつなぐ—



第30号

2013 Summer

目次:

妊娠と風疹	1
現代医療シリーズ 新型出生前診断	2
CT・MR装置が 新しくなりました	3
母性外来が きれいになりました	
きつずセミナー 開催のお知らせ	4

妊娠と風疹

2012年から2013年にかけて首都圏を中心に風疹が大流行しています。7月に入り患者数は、5月下旬のピーク時の半数程度となりましたが、大阪はいまだに感染者が多い地域であり、注意が必要です。

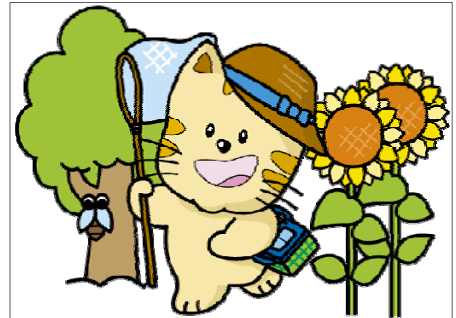
風疹は、風疹ウイルスにより起こる感染症です。潜伏期間は2～3週間で、主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れを認めます。3日程度で症状は治まるので、「3日はしか」とも呼ばれます。一度かかると、大部分の人は生涯風疹にかかることはありません。しかし、妊娠初期の女性が風疹に感染した場合には、赤ちゃんが子宮内で風疹ウイルスに感染し、先天性風疹症候群に罹患するケースがあります。先天性風疹症候群では難聴、心疾患、白内障、そして精神や身体の発達の遅れ等の症状をもつことがあります。先天性風疹症候群がおこる可能性は、妊婦さんが風疹にかかった妊娠の時期により異なります。特に、妊娠初期の12週までに感染した場合には、先天性風疹症候群が発生する可能性が高いことが知られています。

妊婦さんは妊娠初期の血液検査にて、風疹抗体の有無を確認をします。抗体があると、過去の感染または予防接種の効果によって風疹ウイルスに対する免疫があることになるので、風疹に感染する心配はありません。一方、妊娠中に風疹の抗体を十分にもっていないことがわかった場合は、まずは家族に予防接種を受けてもらい、家庭内に風疹を持ち込まないようにすることと、人混みなどをなるべく避けるなどの工夫が重要です。妊娠中の方は予防接種を受けることができません。今回の妊娠が終わったらすぐに予防接種（ワクチン接種）を受けてください。授乳中であっても予防接種は可能です。

特に、現在30歳代後半以上の男性は定期予防接種の機会がなく、この年代の男性を中心に感染が多くなっています。確実に予防接種を受けたという記録のある方以外は、男女ともに予防接種を受けにいきましょう。これから妊娠を考えている女性や、身近に妊婦さんのいる方は必須でしょう。ご自分やご家族はもちろんのこと、これから生まれてくる赤ちゃんを守るためといえます。

大阪府立母子保健総合医療センターは、風疹罹患の恐れのある妊娠女性に対する2次相談施設となっています。風疹感染が疑われる妊婦さんのご紹介やご相談を受け付けています。ご心配な点があれば、ご相談下さい。

(文責 産科 太田 志代)



発行

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健総合医療センター

現代医療シリーズ

新型出生前診断

新型出生前診断は2011年10月にアメリカで臨床検査として開始されました。日本では様々な議論を経て2013年4月から限定された施設で臨床研究として始まっています。

報道などでは「新型出生前診断」等と言われていますが、正確には「非侵襲的出生前遺伝学的検査 (NIPT; Non Invasive Prenatal genetic Testing)」といいます。これまでは胎児の染色体やDNAを調べるには、子宮に針を刺すといった方法を用いて羊水などを取る必要がありました。ところが最近DNA解析技術が急速に進歩し、母体の血液中に含まれる胎児のDNAを調べることができるようになりました。採血で行うことができるため「非侵襲的」といわれています。

NIPTの技術を用いることで、日本国内では3種の染色体(21番・18番・13番)の数の変化(ダウン症候群・18トリソミー・13トリソミーという病気の原因)を調べる検査を受けることができるようになりました。胎児DNAを調べて染色体の診断をするので「母体血胎児染色体検査」とも呼んでいます。染色体の数が1本多くなると、増えた染色体上にあるDNAも増量します。どのDNAが増加したかを調べることで、何番目の染色体が1本多くなったかを診断します。母親の血液中には胎児のDNAだけでなく、もっと多量の母親のDNAが含まれています。NIPTでは母子のDNAをまとめて解析し、微細な胎児DNA量の変化を捉えることで診断をしています。このためDNA量の変化が乏しければ判定が異なったり判定できなかつたりします。また判定を難しくする様々な要因が徐々に判りつつあります。

胎児DNAだけを調べているわけではないので、検査の正確さは100%にはなりません。検査結果が陰性の場合にはどの年齢の妊婦でも99.9%以上で的中しますが、検査結果が陽性の場合、たとえば35歳の妊婦ではダウン症候群で80%、13トリソミーでは10%未満の的中率と推測されます。NIPTで陽性であっても追加で確定検査が必要となるのはこのためです。

現在、この検査は、ハイリスク妊婦（高年妊娠など対象疾患の可能性が高い妊婦）に限って行われています。これは、リスクの低い妊婦での検査の有効性が検証されていないからです。

大変話題になっているNIPTですが、従来行われていた出生前診断に一つ検査法が加わったにすぎず、対象疾患も限定されています。しかし、今後は、この検査法が様々な疾患に対して用いられるようになる時代が来るでしょう。採血だけという簡便さとは裏腹に、得られる検査結果の意味、限界、重大性、そして個人や社会に与える影響に私たちは直面しています。

(文責 産科 岡本 陽子)

大阪府立母子保健総合医療センター 基本理念

母と子、そして家族が笑顔になれるよう、
質の高い医療と研究を推進します。

基本方針

- ・ 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します。
- ・ 患者さんとの相互信頼の立場に立った医療を行います。
- ・ 地域の保健医療機関と連携して母子保健医療を推進します。
- ・ 母子に関する疾病の原因解明や先進医療の開発研究を進めます。

CT・MR装置が新しくなりました

新しいCT装置は、性能が格段に向上して、撮影時間が大幅に短く画像も良くなりました。このことにより、赤ちゃんの心臓や気管の動きまでも観察することができるようになり、さらに、エックス線の被曝線量を大幅に減らす技術も導入され、安全性も向上しています。装置にはモコニャンがデザインされた装飾を施し、検査中に音楽を聴いたりDVDを見たりできる設備もバージョンアップされ、以前にも増して検査を楽しく受けられるよう、工夫しています。

(文責 放射線科 CT室)

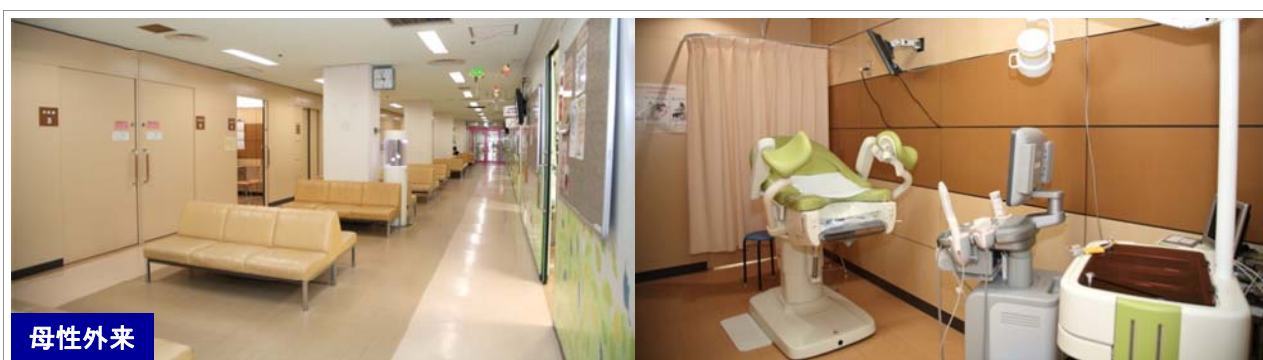


今春、MR装置が更新し、検査室も移転・一新されました。新装置は、開口部分が今までより広くなった上に、奥行きも浅くなり圧迫感が減少しました。検査室は、スカイシーリング(*)を取り入れることで大変雰囲気が明るくなりました。また、眠るお薬を飲まれた方のための入眠室も2室に増設し、子供さんにとって検査環境が改善されました。検査に関しては新しい技術を駆使した画像が提供可能となり、今後は小児のみならず妊婦にもより優しい検査が行えるものと考えています。

*スカイシーリング：写真・動画を利用したバーチャルな天窗

(文責 放射線科 MR室)

母性外来がきれいになりました



平成25年3月、母性外来の産科診察室を改装し、きれいになりました。

プライバシーを守りながら採光に配慮した明るい診察室になり、ゆっくり診察を受けられる広さを取りました。内診室は個室化され、しっかりプライバシーを守っています。内診台は最新式で、昇降時の妊婦さんの負担軽減を考慮しました。診察室をすっきりさせたことで、待合のソファの間隔が広くなり、ゆったり座って過ごしていただけるようになっています。

また、診察室の改装にあわせ、待合テレビに母乳育児や両親学級についての情報を流すなど、待合環境の改善にも取り組んでいます。より快適に妊娠期間を過ごせるようお手伝いしたいと思っています。

(文責 母性外来)

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健
総合医療センター



〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840

TEL:0725-56-1220 (代)
FAX: 0725-56-5682

ホームページもご覧ください。
<http://www.mch.pref.osaka.jp>

8月24日(土)に第4回きつずセミナーが開催されます。

今年は小学生、中学生、高校生を対象とした、センターのさまざまなお仕事体験をしていただく内容です。総合案内でも応募を受け付けています。

(文責 企画調査室)

きつずセミナー開催のお知らせ

日時	平成25年8月24日(土) 1部 13:00~14:30 2部 15:00~16:30				
場所	大阪府立母子保健総合医療センター 病院1階・研究所				
コース	A	B	C	D	E
対象者	小学5年生 ~中学生	小学生	小学生	高校生	小学生 (付き添い可)
募集人数 1・2部各 (合計)	18名 (36名)	20名 (40名)	45名 (90名)	16名 (32名)	50名 (100名)

医師体験 A

- 心臓外科医の一日をのぞいてみよう
- 豚の心臓を使った手術体験

看護師体験 B

- 採血ってどうするのかな
- 赤ちゃんの体重はどうやってはかるのかな等

研究者体験 D

- ① 代謝・環境影響部門
 - 分子の重さをはかってみよう
 - 細胞を飼ってみよう
- ② 免疫・病因病態部門
 - 遺伝子の暗号をみてみよう
 - 生命の神秘 - 母胎内のなぞ

1~2のうち、いずれかの体験となります。指定はできませんのでご了承ください。

医療技術者体験 C

- ① 放射線技師
 - 放射線検査って知ってる?
- ② 薬剤師・検査技師
 - 薬をはかって包んでみよう・血液型を調べてみよう
- ③ リハビリ(理学療法士・作業療法士)・耳鼻科
 - 車いすを体験してみよう
 - ギプスで利き手交換を体験してみよう
 - 耳の中をのぞいてみよう・補聴器で聞いてみよう

①~③のうち、いずれかの体験となります。指定はできませんのでご了承ください。

スタンプラリー E

- 病院のお仕事紹介パネル(クイズ)
- 人工心肺ってなあに等

同時開催：和泉市消防署 救急隊による
応急手当講習会(ご家族向け)

お申込み	はがき・FAX・電話のいずれかで、①~⑤をご記入の上、お申し込みください。 応募多数の場合は、抽選となります。【締め切り：8月12日(月)必着】 ①郵便番号・住所・電話番号 ②氏名(ふりがな)・性別・学年 ③洋服のサイズ ④希望のコース(小学生のみ第2希望まで) ⑤希望の部(1部・2部のどちらかを選んでください)		
はがき	〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840 大阪府立母子保健総合医療センター きつずセミナー係	FAX	0725-56-5682
		電話	0725-56-1220 内線3241 (平日9:00~17:30)
お問合せ	大阪府立母子保健総合医療センター 企画調査室 電話：0725-56-1220 内線3241		

ホームページが リニューアルしました

4月15日より、母子医療センター
ホームページがリニューアルしました。
ぜひ、ご覧ください。

URL <http://www.mch.pref.osaka.jp/>

